

起業志望者を積極採用

新事業の会社設立支援

レシシステム

次世代ロボット開発や人材教育を手掛けるレシシステム(大垣市今宿、富田茂社長)は、起業を目指す若者の採用を積極的に進める。社員が働きながら新規事業に取り組める社内ベンチャーのような仕組みを構築。将来は社員の起業を後押しして事業化のスピードアップや社内の活性化を図る。今秋までに2人を採用し、1年後には10人まで増やす見込み。

(河合修)

同社は情報サービス業のキャリアオ技研(名古屋市)の関連会社。無人飛行ロボットなど企業から受託した製品開発のほか、デザインや商品企画のソフト事業も手掛ける。

起業志望の社員は入社後に業務を通じて商品の企画や開発のノウハウを学ぶ。開発過程では、行政や大学

の専門家、企業と連携する機会も多く、民間や行政との人脈づくりにつなげる狙いもある。

将来は、社員が自ら企画した商品や事業のアイデアを基に新会社を設立。立ち上げた社員は最高執行責任者(COO)として事業運営に専念させ、負債などの責任を負わせないように配

慮する。

今秋には、レシシステムが関わるゴルフの新ブランド「CAERUS(カイロス)」の展開を広げるため、社員をトップに立たせた新会社を設立する。資本金はレシシステムなどが出資予定。新会社の運営をモデルケースに、会社を順次立ち上げ、新規

事業の立ち上げを加速させる。

富田社長は「大学卒業後、すぐに起業するのはハードルが高い。社員として一定の収入を得ながら将来的に起業できる仕組みを整えた」と話している。